



The Service Club for the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：「より良い世界のために、共に」 A.シャナヴァスカーン

Together for a Better World

アジア会長主題：「大きなインパクトを起こそう」 ジョウン・ウォン（香港）

Make a Great Impact

東日本区理事主題：「ワイズの方向性を見極める」 山田公平（宇都宮）

Our Future Direction

あづさ部長主題：「めあて 望み」 ピーター・マウントフォード（甲府）

甲府クラブ会長主題：「みんなで育む ワイズの歴史！」 =不易流行を見極めて クラブライフの充実を=

■ 今月のことば ■

「物事は中庸を以て正となす」

甲府ワイズメンズクラブ会報

2024 9月

今月の
強調
目標

EMC

孔子の論語より 石川 和弘 会員 選

今月の例会案内

日時：2024年9月10日(火) 18:45～20:45

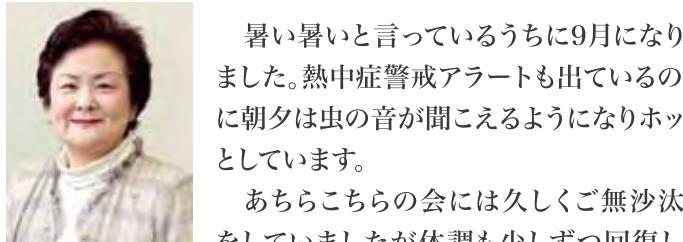
会場：山梨YMCA 3F

担当：会員増強委員会

司会：金丸 さぶろう 君

プログラム

- ・開会点鐘 小倉恵一 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 小倉恵一 会長
- ・今月のことば 石川 和弘 会員
- ・食前感謝 中田 純子 総主事
- ・ワイズディナー
- ・講演『小江戸甲府のまちづくり構想』
舞鶴城公園の南側（お堀沿い）エリア
甲府市産業部商工観光室観光課
- ・ハッピーバースデー＆アニバーサリー
- ・諸報告
- 「あづさ部部大会」10月19日(土)について
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 小倉恵一 会長



暑い暑いと言っているうちに9月になりました。熱中症警戒アラートも出ているのに朝夕は虫の音が聞こえるようになりホッとしています。

あちらこちらの会には久しくご無沙汰をしていましたが体調も少しづつ回復しやっと外出できるようになりました。

昨年クリスマス例会の日は思いもかけない大きな手術をしましたが皆様の熱い祈りに支えられて無事に手術を終える事が出来て感謝の思いでいっぱいです。病の発見から手術までの2週間は検査検査の連続で思い悩む間もない位忙しい日々でした。「心配することはありません。私を信じて下さい」と、その度にDrは声をかけて下さり私の質問にも良く答えて下さり安心して手術に臨む事が出来、念願のクリスマス礼拝も家族と共に守る事が出来ました。

新しい年になり1月から6月まで毎週火曜日に点滴治療に通い始めました。その間色々な副作用が出て免疫力低下の為、人ごみへの外出や無理なことはドクターストップがかかり何も出来ずに辛い日々を過ごしました。長い闘病生活の間大勢の方々から手紙やメール、電話などを頂きどんなに励まされた事か…。家族の大きな協力と友人達にも色々な形でお手伝いをして頂き嬉しく涙が沢山出ました。母校の先輩が毎日、朝晩送ってくれるメールの中に「怖がることはない。安心して行きなさい」マルコによる福音書5章34節の聖書のみ言葉がありました。治療の度にこの御言葉に支えられてきました。まだ暫く治療は続きます。

私の人生は神様しか分かりません。日々、神様の大きな暖かい御手に支えられていることを覚え、み言葉を信じて安心してこれからも甲府ワイズメンの一員として歩みを続けたいと思います。

8月のデータ

会員数 18名

例会出席 メン 9名

出席率 50%

メネット 3名



8月の例会は、クラブサービス委員会担当、石川健会員が司会をして8月13日（火）シャトレーゼホテル談露館で18：45から始まりました。

開会点鐘とワイズソング、ワイズの信条、会長挨拶では8月例会は納涼家族例会として企画しましたので、楽しんでくださいと今夜の内容の説明があって、ゲストの紹介もありました。今月のことばは荒川会員が選んでくれました「ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」で、この世に同じ物は二つとないという仏教の教えだそうです。

今夜のメイン「シャンソンの夕べ」です。歌手は甲府クラブ2回目の出演になります小倉浩二さん、前回も納涼例会で世界地図柄の衣装だったのですが、今夜は浴衣を準備してくださいまして、納涼例会らしい雰囲気になりました。歌もシャンソンばかりでなくいろいろな楽し歌を歌ってくれました。

マゴメットも参加していたのですが、そのマゴメットも知っている歌もまじえて短い時間でしたが楽しい時をすごしました。

石川健さんの食前感謝のあとビールとウーロン茶で乾杯をしてワイズディナーです。楽しそうな笑い声のなかいつもよりは少し豪華な食事でした。

そしてハッピーバースデー、諸報告、ワイズソングが続いて閉会点鐘となりました。

標 克明



8月役員会報告

2024年8月27日（火）18：30～20：00

山梨YMCA グローバルコミュニティセンター

■出席者 小倉、渡辺、標、田中、石川和弘、ピーター金丸、石川健

■報告事項

- ・8月例会 8月13日（火）シャトレーゼホテル談露館 出席者メン9名、メネット3名（荒川、小倉、標） コメット1名（小倉）マゴメット2名（小倉） ゲスト小倉浩二（シャンソン歌手） ニコニコBOXなし

■協議事項

- ・9月例会について・・9月10日（火）山梨YMCAで甲府市産業部商工観光室観光課の講演『小江戸甲府のまちづくり構想』舞鶴城公園の南側（お堀沿い）エリア。

- ・10月例会はあづさ部部大会を例会にあてる

■その他

あづさ部部大会の内容を検討。スケジュールと内容の確認。ユースを柱に展開する。参加費を5,000円とする。笛吹市、甲府市の観光パンフレットを用意する。エクスカーションは近くのワイナリーを見学する。第1報をメールでお知らせする。（詳しくはこのページの部大会についてを参照）

あずさ部 部大会に向けて

会長 小倉恵一

甲府クラブがホストする「あずさ部部大会が近づいてまいりましたので、概要をお知らせします。今大会のテーマは、東日本区山田理事が提唱されているキーワードの「ユースエンパワーメント」になりました。

そもそも論で申し訳ありませんが、「ユースエンパワーメント」といっても無知な私にはピンとこなかつたのですが、「超高齢化社会となった日本で、ユース(若者)の権利は著しく弱められています。YMCAでは18歳～35歳までの世代をユースとして、そのエンパワーメント(力をつける、自信を与える)に取り組んでいます。そこには、YMCAに通わせる子育て世代や、働く世代も含まれます。YMCAは、希望ある未来のためにユースと共に歩みます。【日本YMCA同盟HP】の説明で何となく理解できて、『日本のYMCAはユースを育てる⇒共に歩む活動をしている。ワイズメンズクラブはその支援を主に活動しましょうと東日本区山田理事は提唱しているんだ。』と、今更ですが私なりにガッテン！した次第です。

大会の第1部では、東西日本区・日本YMCA同盟の協力により行われた「能登半島地震復興ボランティアワークキャンプ」(8月17日～19日、9月7日～9日)に参加したユースと、8月にY's国際大会(チェンマイ)とバンコクYMCAパヤオセンター＆横浜YMCAのスタディツアーチを視察した山梨YMCAユースからの報告会を行います。

第2部は懇親会会場に移動して写真撮影の後会食懇談を行いますが、山梨YMCAユースの皆様によるサプライズイベントを予定しています。

大会終了後には、アイスクリーム二次会？や、希望者にはエクスカーションとして駅近のワイン工場見学(無料)を計画しています。

甲府クラブでは部大会が10月例会振替日になりますが、部大会準備の最終打合せを10月8日(火)18:30～山梨YMCAで行いますので、ご協力頂けるメンおよびメネットの出席をお願い申し上げます。



台南クラブ (IBC)交流



8月に行われたY's国際大会(チェンマイ)に参加された山梨YMCAの福田奈里子ディレクターに、事前に「甲府クラブとIBC(国際兄弟クラブ)の台南クラブやDBC(国内兄弟クラブ)の和歌山クラブからの参加者と出会えたら、甲府クラブのブリテンとミニバナーを渡して交流してほしい。」とお願いしていたところ、台南の劉克全夫妻と交流できて大変喜んで下さっていました。との報告を頂きました。

仙台市で行われたアジア大会の時に台南から数名が来県し、甲府のホテルで交歓会をして以来の交流だと思います。頂戴した名刺から劉さんにMailしたところ、来年のアジア大会(熊本)で…との返信がありました。

来年8月に熊本で開催される「第31回アジア大会」には甲府クラブからも押しかけて、リアルで交流しましょう。

会長 小倉恵一

● これからの予定 ●

- 9月10日(火) 9月例会 山梨YMCA
- 9月21日(土) 甲府21クラブ「ブドウ棚下例会」
- 9月22日(日) ユース達の活動報告会 山梨YMCA
- 9月24日(火) 9月役員会 山梨YMCA
- 9月28日(土) 富士五湖クラブ「富士山例会」
ピーター・マウントフォードあずさ部長公式訪問
- 9月24日(火) 9月役員会 山梨YMCA
- 10月8日(火) 臨時役員会 山梨YMCA
- 10月19日(土) あずさ部 部大会(10月例会)
(シャトレーゼホテル石和)
- 10月26日(土) 東京八王子クラブ30周年例会



「思い出から続く未来へ」

総主事 中田 純子

暑さが少しづつ和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。今年の夏も、皆様のご協力により、多くの子どもたちに素晴らしい思い出を残すことができました。

この夏、多彩なプログラムが企画・運営され、子どもたちは様々な体験を通じて、多くの思い出を作ることができました。特に、ワイズメンズクラブの皆様には、恒例のふくろうキャンプでの昼食のカレーや唐揚げを子どもたちと共に作っていただき、人にとって大切な食を共にしていただき、大変感謝しております。自然の中でのびのびと過ごす子どもたちは、昨年よりも成長している姿が見られ、毎年行うことの意味を実感いたしました。また、大きなスイカの提供により、日頃なかなかできないスイカ割りを楽しむことができ、子どもたちにとって特別なごちそうとなり、笑顔が絶えないひと時でした。さらに、暑い夏を乗り切るための手作りうちわをご提供いただき、子どもたちが思い思いの絵を描いて、夏の風物詩を楽しむことができました。

甲府 21 ワイズメンの鎌田様には、戦争のお話会でのご協力をいただきました。お話を通じて平和の重要性を学ぶ貴重な機会となり、子どもたちの真剣な姿勢や「折り鶴」の歌声に深い感動を覚えました。8月の YWCA 主催のピースフェスティバルを通じて、子どもたちに平和の重要性を学ぶ機会が用意され、世界中の異なる文化や歴史を学び、互いの違いを尊重することの大切さを感じながら、音楽やアートを通じて平和のメッセージを表現し、一人ひとりが輝くことができる世界の実現を目指していきます。また、今年の夏は世界パリオリンピックに注目が集まった夏でもありました。

今月のことばの説明

世の中で何事をするも、やりすぎてはいけない。そうかといって、遠慮しすぎてもよくない。
ほどほどに行動するということが、最高の人徳というものであります。

笑顔あふれる選手、泣き崩れる選手、また年齢問わず幅広い層の参加がありさまざまな表現が見られました。多くの人に勇気と力を与えたのは間違えありません。オリンピックは、スポーツを通じて世界中の人々がつながる平和の祭典です。選手たちの努力と情熱は、多くの子どもたちに夢や希望を与えるものでした。山梨 YMCA も、平和を表現できる時のために、子どもたちのより良き成長とチャレンジ精神の育成を目指しています。

これらの経験は、ただの思い出ではなく、未来に向かう大切なステップとなります。私たちが一緒に作り上げたこの夏の思い出が、子どもたちの未来に向かう力となり、より豊かな未来を築くための礎となることを願います。



ふくろうサマー キャンプ

8月 1 日（木）～ 2 日（金）県立八ヶ岳少年自然の家にて、ふくろうサマー キャンプを開催いたしました。今年はメンバー 20 名、スタッフ 14 名の計 34 名の参加となりました。

甲府ワイズメンズクラブ様からご提供いただいたスイカは、1 日目の夕方にスイカ割りをした後、おいしくいただきました。日頃なかなかできないスイカ割りにメンバーはとても喜び、いきいきとした姿を見せてくれました。改めて感謝申し上げます。

9月

ハッピーバースデー（メン・メネット・パートナー）
ナシ